

事務事業評価 平成 27 年度

担当課 都市整備課

基本事項	事務事業名	白土湖水草除去・抑制対策事業				整理番号	1612
	根拠法令等	なし				実施を義務付ける規定	<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし
	関連する市勢振興計画の基本計画	章 第4章 安全・安心と安らぎの環境を整える	予算科目	8 款 5 項 2 目		<input type="radio"/> 継続 <input checked="" type="radio"/> 新規	
		節 第1節 公園・緑地の整備・維持・管理	事業区分	施設管理・運営			

事業の目的・実施状況等	事業の背景 (課題、市民の要望等)	白土湖は、島原市の観光地のひとつであり、湖面に水草が繁茂した場合、景観を損ねてしまうことになる。現在、定期的に水草の除去作業を行っているが、水草の繁殖力が強い為、その除去作業に多額の費用を要している。そのため、水草の繁殖を抑制し、除去に要する費用の削減を図るものである。				計画期間	始期	平成 27 年度から
						終期	平成 31 年度まで	
	事業の対象 (誰に・何に対して) 目的 (どのような状態にしたいのか)	現在、白土湖の水草の除去作業を定期的に行っているが、併せて、湖底に砂利を敷き詰め、水草の繁殖状況の経過観察を行っている。今後は、白土湖の水質とのバランスを図りながら、砂利を敷く面積を広げる等の検討を行いながら、水草の繁殖を抑制することで、水草が湖面を覆うことなく、水草の除去に要する費用の削減を図るものである。						
	目的達成のための 具体的手段・方法	今後も、定期的な水草の除去作業を継続して行う。併せて、湖底に砂利を敷き詰め、水草の繁殖を抑制する対策を講じる。その後は、潜水士による水草の繁殖状況の確認を継続して行う。また、水草の刈取り機械の導入等についても検討して行く。						
	成果指標 (目的達成度を図るものさし)	名称等(内容)	単位	25 年度	26 年度	27 年度		
	①定期的な水草の除去作業を継続して行うことにより、水草が水面を覆うことをなくす。	目標	水草が水面を覆わない	水草が水面を覆わない	水草が水面を覆わない			
		実績	達成	達成				
	②水草の抑制対策として、平成25年度で、湖底と水路に砂利を敷き詰め、また、平成27年度は、湖底に200㎡の砂利を敷き詰め、水草の繁殖状況を定期的に調査し、その後も経過観察を行う。敷き詰めた砂利の部分から水草が繁殖しないことを指標とする。	目標	水草の繁殖なし	水草の繁殖なし	水草の繁殖なし			
		実績	水草の繁殖なし	水草の繁殖なし	5月末時点で水草の繁殖あり			
	①定期的な水草の除去作業を継続して行う。	目標	除去作業	除去作業	除去作業			
		実績	実施済み	実施済み	実施中			
	②湖底に砂利を敷き詰め、水草の繁殖状況について、経過観察を行う。	目標	経過観察	経過観察	経過観察			
		実績	実施済み	実施済み	実施中			

事業費等の推移	年度		23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度
	区分		実績値	実績値	実績値	実績値	予算	計画
	① 直接事業費(千円)			4,213	5,591	6,294	11,448	5,240
	財源内訳	国 県 支 出 金						
		地 方 債						
		そ の 他						
		一 般 財 源	0	4,213	5,591	6,294	11,448	5,240
	② 従事職員給与費 b1 × b2		0	873	938	1,317	1,413	0
	従事職員数(人) b1		0.00	0.12	0.13	0.18	0.19	0.00
	職員平均人件費 b 2		7,236	7,277	7,213	7,317	7,438	
事業費合計 ① + ②		0	5,086	6,529	7,611	12,861	5,240	

【1次評価】

事務事業の評価項目と評価の視点		評価内容（判断理由、課題等）	
必要性	①社会環境の変化や市民ニーズに照らして、事業の必要性が薄れていないか	A=薄れていない B=一部薄れている C=薄れている 水草の繁殖がひどい時、市民からの苦情や新聞にも掲載されたことがある。	判定 A
	②事業を民間(NPO、市民、ボランティア等)に実施させることはできないか	A=市以外での実施は困難 B=一部民間での実施可能 C=民間での実施可能 継続した調査や除去に要する費用が必要であるため、民間での実施は困難である。	A
	③対象者は事業目的に見合っているか。また、事業を取り巻く時代変化や制度改正など、環境の変化に適応しているか	A=概ね適切 B=改善の余地あり C=見直しが必要 該当なし	-
有効性	④成果指標の達成に十分寄与する手法がとられており、結果として目的が達成されているか (成果指標と連動させること A=達成 B=概ね達成 C=未達成)	A=達成している B=一部達成している C=あまり達成していない 水草の除去作業に関しては、目的を達成している。水草の抑制対策については、成果指標の達成に寄与する手法か否かを含め、今後も継続して検討する必要がある。	B
	⑤事業効果をさらにあげる余地はないか	A=効果向上の余地はない B=一部検討の余地がある C=検討の余地がある 水草の抑制対策については、現在、試行的に行っている状況であり、今後検討が必要である。	C
効率性	⑥事業実施により、費用や業務量に見合った活動結果が得られているか (活動指標と連動させる A=達成 B=一部未達成 C=未達成)	A=得られている B=一部得られている C=見直しが必要 水草の除去作業については、目的を達成している。水草の抑制対策については、現在、試行的に行っている状況であり、今後見直しが必要である。	B
	⑦必要な活動結果がより少ない費用や業務量で得られる手法に代えられないか	A=現行以上の手法はない B=一部検討の余地がある C=検討の余地がある 今後の結果により、手法を検討する必要がある。	C
	⑧組織間の連携や役割分担に改善の余地はないか	A=改善の余地はない B=一部改善の余地がある C=改善の余地がある 今のところ、担当部署である都市整備課で行っている。	B
公平性	⑨事業の対象者全員に偏りなくサービスが提供されているか 全体コストから見て受益者の負担割合は適切か 使用料等の見直しの余地はないか	A=概ね適切 B=検討・改善の余地あり C=見直しが必要 該当なし	-
	⑩市民参加、市民協働が配慮されているか、市民参加を拡大する余地や、新たに取り組む余地がないか A=概ね適切・現状維持 B=検討・改善の余地あり C=見直しが必要		B
判定評点平均（3点満点） A=3、B=2、C=1、「-」=0として換算			2.00

◎ 総合自己評価（所管部署）

評価結果	<input type="radio"/> A 継続実施(特段の見直しは行わない) <input type="radio"/> B 改善・見直しを行う <input type="radio"/> B1 事業規模の拡充 <input type="radio"/> B2 事業規模の縮小 <input checked="" type="radio"/> B3 事業内容の改善・見直し <input type="radio"/> B4 その他の見直し <input type="radio"/> C 休止(隔年実施などへの変更) <input type="radio"/> D 廃止(終期の設定等を含む)	判断理由	現在のところ、水草の除去作業については、目的を達成している。しかし、水草の抑制対策については、その対策をどのように進めていくのか、現在、試行的に行っているところである。今後の経過観察の結果をもとに、経費削減に向けて、更に対策を検討したい。長期にわたる、調査、検討時間が必要である。
	今後の課題及び改善策、見直しの状況		(実施上の課題等) ・平成25年度で、6㎡(2m×3m)の範囲に砂利を敷き詰め、水草の繁殖状況を観察してきたが、狭い範囲ではわからないと判断した。 ・今年度、10m×10mの広さで2か所に分けて砂利の敷均しを行った。この後も、継続して水草の繁殖状況を確認し、水草の抑制対策を検討して経費の削減に努める。
<small>・総合評価で、「見直し・改善」を行うとした場合、見直しを行う上での今後の課題や事務事業の改善・見直しを行うことにより予想される効果も併せて記載ください。 ・本年度の事業を実施するにあたり、事業内容等の見直し(改革・改善、終期の設定など)を行っている場合は、その内容についても記載ください。</small>			

【2次評価】

総合判定	B4見直しのうえで実施 ⇒ その他の見直し
備考	本調査の結果を検証しつつ、先行団体の取り組みを参考にして事業費の縮減を図る。

【3次評価】

総合判定	B3見直しのうえで実施 ⇒ 事業内容の改善
備考	継続して事業を行う必要がある。いかに低コストで事業を行うかが検討課題。長いスパンで効果がある方法を検討し、事業費の縮減を図ってほしい。ボランティアや市民協働でやれないか検討してもらいたい。

評価結果を踏まえた次年度予算への反映状況		
① <input checked="" type="checkbox"/> 事業費縮減(事業の見直し)	③ <input type="checkbox"/> 成果向上に向けた事業費増加	↓ 予算措置額の増減
② <input type="checkbox"/> 民間委託等によるコストの縮減	④ <input type="checkbox"/> 事務の効率化による現状維持(事業内容の拡充)	△ 6,888 (千円)